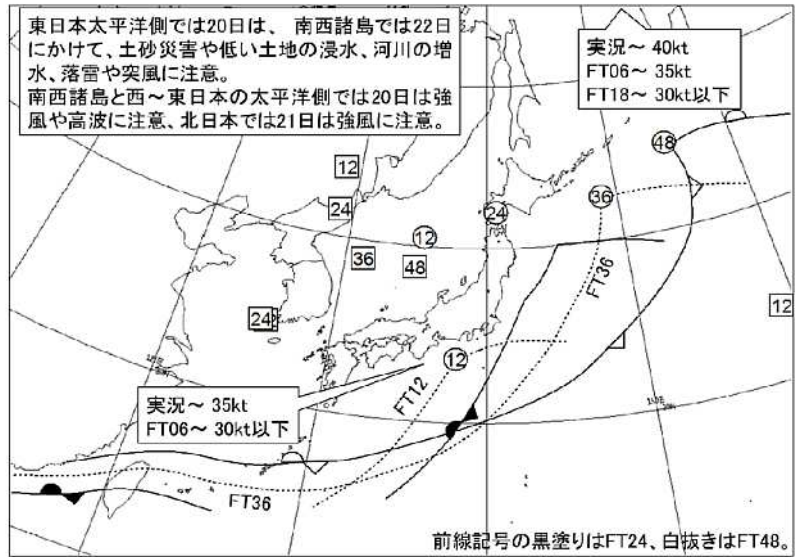


1. 実況上の着目点

- ① 西日本には、500hPa -12°C以下の寒気を伴う 5760~5820m のトラフがあって東進。このトラフに対応して四国の南に前線を伴った低気圧があって、東北東進。低気圧や前線に向かって日本のはるか東に中心を持つ高気圧の縁辺をまわる下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となっている。前線近傍の東日本太平洋側では1時間におよそ30ミリの激しい雨を解析。
- ② 中国東北区には 500hPa -21°C以下の寒気を伴う 5580~5700m のトラフがあって東南東進。対応する低気圧が日本海中部にあって東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは、浅まりながら20日は東日本を東進し、20日夜には1項①の低気圧を追い越し、日本の東に達して不明瞭となる。1項①の低気圧は衰弱しながら東海道沖を東北東進し、20日夜には前線上のキンクとなって日本の東に進む。この低気圧や前線に向かって1項①の高気圧の縁辺をまわる850hPa相当温位336K以上の下層暖湿気が流入し大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨の降る所がある。東日本太平洋では20日は土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。
- ② 1項②の低気圧は20日夜にかけて北日本へ進み、その後衰弱する。1項②の寒気を伴ったトラフはゆっくり東南東進し、21日夜には千島近海へ進む。これに対応して21日朝には千島近海で2項①の前線上に新たな低気圧が発生、発達しながら北東進し、22日朝には千島の東へ進む。この低気圧と21日夜に日本海中部に移動する高気圧との間で気圧の傾きが大きくなるため、北日本では21日は強い風が吹く所がある。強風に注意。
- ③ 2項①の低気圧や前線と1項①の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなるため、強い風が吹いて、うねりを伴い波が高くなる所がある。南西諸島と西~東日本の太平洋側では20日は、強風やうねりを伴った高波に注意。
- ④ 20日夜から前線が華南~南西諸島へのびだし、22日にかけてゆっくり北上する見込み。この前線に向かって850hPa相当温位345K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となるため、雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨の降る所がある。南西諸島では22日にかけて土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠] ①大雨ポテンシャル(06時から24時間): 沖縄100mm。②波浪(明日まで): 伊豆諸島・東海・近畿・四国3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。